

日々いきいきと

教育目標



明るい子
強い子
考える子

入間市立豊岡小学校
令和8年度 3号

入間市向陽台1-1-14番地

TEL 04-2964-5286

令和8年6月2日

児童数 318名

燕や ひらりひらりと 町の中

正岡子規



南校舎から体育館に続く渡り廊下の軒下に、ツバメが巣を作り始めました。

ツイーツイーツと何度も何度も往復して、ツバメたちは懸命に巣作りに励んでいます。

ある日、一人の児童が校長室にやってきました。「ツバメが巣を作っています。生命あるものだから、大切にしたいほうがいいと思います。」という訴えでした。一方でツバメのフン害など気になるので、巣を壊したほうが良いのではないかと考える児童もいました。

そこで、両者にツバメの営巣について考えてもらうことにしました。様々な感情が渦巻いていたと思いますが、ツバメの巣作りについてのメリットデメリットをクラスを巻き込み冷静に考えてくれました。

その後、話し合いの結果を報告に来てくれました。理路整然と客観的なデータも交えながらプレゼンテーションしてくれる姿は、とても堂々として誇らしげです。

翌日、両者を呼んで、学校としての見解や予測される今後の対応を伝えました。「どうかな？」の投げかけに同意してくれたとともに「何か困ったことが起きたら、また考えることにする」ということになりました。高学年になると、一つの事柄に対して建設的に考え結論を出すことができるのです。

仲間と意見を聴きあうところから始まる主体的・対話的で深い学びは、実は授業中でも授業以外でも展開されています。多くの経験の積み重ねが、思考力、判断力、表現力を刺激し、道徳的実践力や豊かな心も育まれていくのだと実感できる出来事でした。

現在は、通路の軒下の片隅に巣が作られ、親鳥がじっと卵をあたためている様子が観察できます。

1年生が毎朝、一生懸命朝顔の水やりに勤しんでいます。「〇こ、芽がでた！」と喜ぶ子供たち。「まだ芽が出ない」とさみしそうな表情の子供たち。青い鉢の前で一喜一憂しています。朝顔も性格がまちまちのようですが、必ずツルを伸ばし伸びていきます。成長が楽しみです。

